学校番号	３１６

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	エッセイライティングⅡ	3	3	・新演習 750 英文法・語法問題 ・新演習 750 英文法・語法問題スタディ・ポイント ・Active Writing Complete Course ・Next Stage 4th Edition 英文法・語法問題 Winning Spirit ・Next Stage 4th Edition

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これまで学習してきた文法事項の練度を高め、書くことと話すことを中心に総合的な語学力を伸ばすことを目的にしている。生徒各人が各章の例題や演習問題に取り組み、自ら正しい答えに辿りつけるよう解法の手がかりを与える。また同じ単元についての複数の教材の問題にチャレンジし、文法や語法の力の定着を図る。さらに、さまざまな題材について短いライティングを繰り返すことで、英文の構造理解を深め、表現力に磨きをかける。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	自然な速さの標準的な英語で話されていれば、外国の行事や習慣などを理解することができる。	現代の問題など一般的関心の高いトピックを扱った文章を、時に辞書を使って、相違点を理解しながら読むことができる。	身近なトピック（学校、趣味、将来の希望）について、簡単な英語を使って意見を表明し、情報を交換することができる。	ディベート等で、賛成または反対の理由をあげて、事前に用意されたプレゼンテーションを聴衆の前で行うことができ、質問にもある程度に対応ができる。	物語の順序に従って、旅行記や自分史、身近なエピソードなどの物語文を、複数のパラグラフで書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	CAN-DO リストによる「話すこと」「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	新演習 750 英文法・語法問題 Lesson1 Active Writing Complete Course Lesson1～2 Winning Spirit Unit1,2	話すこと（発表） 書くこと	a: 例文を用いて時制の感覚をつかみ、様々な事柄について時制に注意して話すのに必要な技能を身に付けている。 b: 日常的な話題について、学習した語句や文を用いて話している。 c: 日常的な話題について、学習した語句や文を用いて主体的に話そうとしている。 a: 特殊な構文を用いたり、時制の感覚をつかんだりしながら、様々な事柄について英文を書くのに必要な技能を身に付けている。 b: 特殊な構文を用いたり、様々な事柄について時制に注意して英文を書いている。 c: 特殊な構文を用いたり、様々な事柄について時制に注意して英文を書こうとしている。	スピーキングテスト 定期考査（ライティング）
	中間考査			
	新演習 750 英文法・語法問題 Lesson2～3 Active Writing Complete Course Lesson3～5 Winning Spirit Unit3~5	話すこと（発表） 書くこと	a: 助動詞や受動態を適切な箇所で用いて、様々な事柄について話すのに必要な技能を身に付けている。 b: 日常的な話題について、学習した語句や文を用いて話している。 c: 日常的な話題について、学習した語句や文を用いて主体的に話そうとしている。 a: 助動詞や、受動態を能動態との使い分けをしながら用いて、様々な事柄について英文を書くのに必要な技能を身に付けている。 b: 助動詞や受動態を用いて様々な事柄について英文を書いている。 c: 助動詞や受動態を用いて様々な事柄について英文を書こうとしている。	スピーキングテスト 定期考査（ライティング）
	期末考査			
2学期	新演習 750 英文法・語法問題 Lesson4～7 Active Writing Complete Course Lesson6～8 Winning Spirit Unit6~8	話すこと（発表） 書くこと	a: 仮定法や準動詞を用いて、様々な事柄について話すのに必要な技能を身に付けている。 b: 日常的な話題について、学習した語句や文を用いて話している。 c: 日常的な話題について、学習した語句や文を用いて主体的に話そうとしている。 a: 仮定法や準動詞を用いたり、論理展開を示す表現を用いたりしながら、様々な事柄について英文を書くのに必要な技能を身に付けている。 b: 仮定法や準動詞を用いたり、論理展開を示す表現を用いたりしながら、様々な事柄について英文を書いている。 c: 仮定法や準動詞を用いたり、論理展開を示す表現を用いたりしながら、様々な事柄について英文を書こうとしている。	スピーキングテスト 定期考査（ライティング）
	中間考査			
	新演習 750 英文法・語法問題 Lesson8,9,11 Active Writing Complete Course Lesson9～12 Winning Spirit Unit13~15	話すこと（発表） 書くこと	a: 動詞や名詞の用法を用いて、様々な事柄について話すのに必要な技能を身に付けている。 B: 日常的な話題について、学習した語句や文を用いて話している。 C: 日常的な話題について、学習した語句や文を用いて主体的に話そうとしている。 a: 動詞や名詞の語法を理解し、自然環境や社会生活について英文を書くのに必要な技能を身に付けている。 B: 動詞や名詞の語法を理解し、自然環境や社会生活について英文を書いている。 C: 動詞や名詞の語法を理解し、自然環境や社会生活について英文を書こうとしている。	スピーキングテスト 定期考査（ライティング）
	期末考査			
3学期	新演習 750 英文法・語法問題 Lesson12,13,16 Active Writing Complete Course Lesson12～13	話すこと（発表） 書くこと	a: 比較表現や接続詞、前置詞を用いて、様々な事柄について話すのに必要な技能を身に付けている。 b: 日常的な話題について、学習した語句や文を用いて話している。 c: 日常的な話題について、学習した語句や文を用いて主体的に話そうとしている。 a: 比較表現を用いたり、接続詞、前置詞の働きを理解したりしながら、文化や科学技術などについて英文を書くのに必要な技能を身に付けている。	スピーキングテスト ライティング課題

	Winning Spirit Unit16,17		b: 比較表現を用いたり、接続詞、前置詞の働きを理解したりしながら、文化や科学技術などについて英文を書いている。 c: 比較表現を用いたり、接続詞、前置詞の働きを理解したりしながら、文化や科学技術などについて英文を書こうとしている。	

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度